

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 ご紹介と協賛のご案内

ビジョン

誰もがエンジニアの素養を持ち、より良い社会を共創する。

エンジニアの裾野が広がり優秀なエンジニアが多数輩出されるとともに、あらゆる人々がエンジニアの素養を持ち科学技術の発展へ共に貢献できる社会を創ることで、社会一体となって科学技術でより良い社会を共創する未来を作る。

ミッション

1. これからの日本を牽引する挑戦的共創人材を地域から育成する

ロボット競技を活用し次世代の日本のものづくり界隈を牽引する次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成します。社会一体となってエンジニア教育を実施する基盤を地域社会で創出、子ども達の学びの場とするのみでなく、現役エンジニアや様々な企業、団体、個人が集うコミュニティを創りだすことが本機構の目的です。

2. ロボット競技を人材育成・発掘の場として最大限に活用する

ロボット競技はエンジニアリングの基礎をはじめ、チームでのものづくりを実践的に学ぶために非常に良いツールです。我が国では学校の部活動やサークル活動、社会人の趣味の一つのみとして捉えられがちですが、米国や中国などではロボット競技会は企業の青田買いの場として活用されています。本機構はロボット競技を通じて幅広い世代を対象とする学びの場を提供します。

挑戦的共創人材



次世代ロボットエンジニア支援機構が育成を目指すのは“挑戦的共創人材（Challenge-Driven Co-Creators）”です。以下の7つの主要な価値観を体現し、昨今の飛躍的に進歩する技術を常に学び続け、周囲と力を合わせながら困難に挑み、技術でより良い未来を共創できる人材です。



未知に挑み続ける

新しい技術やアイデアを常に探求し
失敗を恐れず大胆に行動しよう

継続で壁を打ち破る

情熱の下に、粘り強く問題に挑もう

あらゆる挑戦を楽しむ

困難な状況で常に全力で楽しみ、
仲間とその楽しみを分かち合おう

協力してより高みへ

違いを認め合い、互いを尊重し、
協力することで高みを目指そう

学びで世界を変える

学び続けることで強みを伸ばし
視座を高めてより良い世界を共創しよう

未来へつなげる

チームやエンジニアコミュニティの
継続的発展のために行動しよう

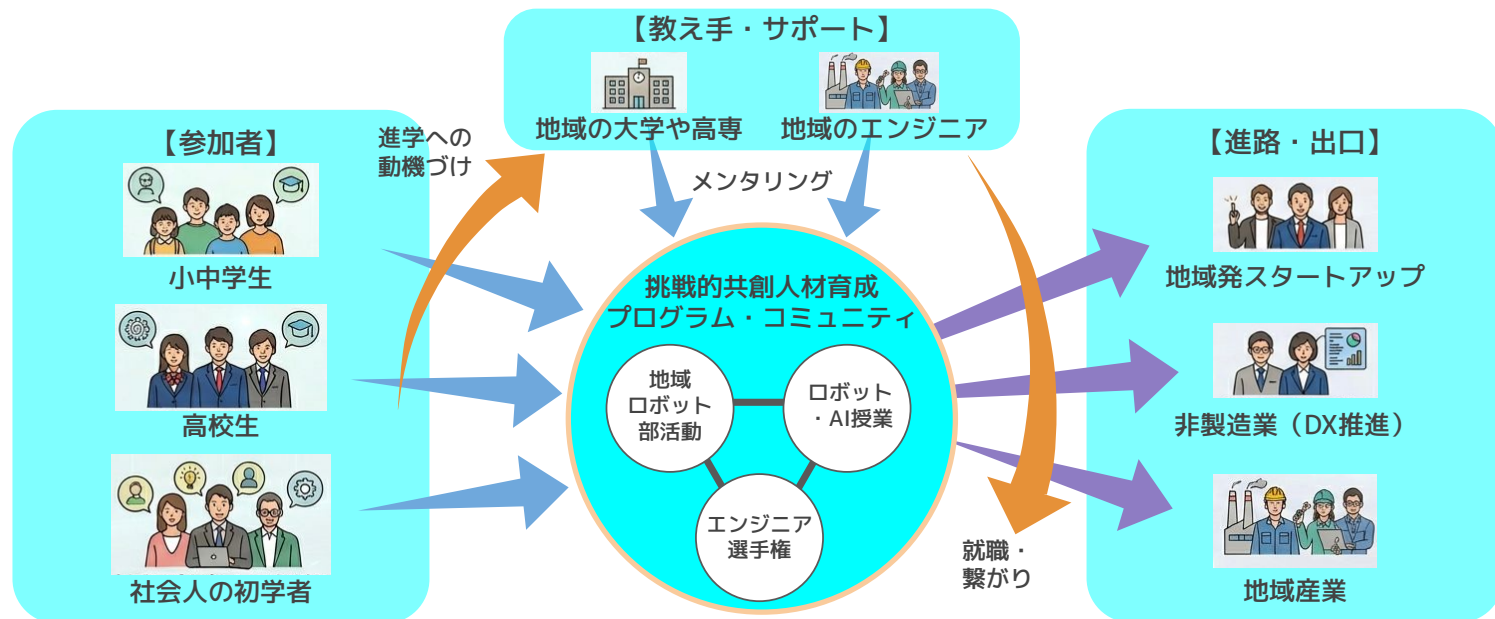
人・技術へ誠実に

誠実で信頼される人となり、
公正かつ真摯に技術と向き合おう

挑戦的共創人材育成プログラムの創出



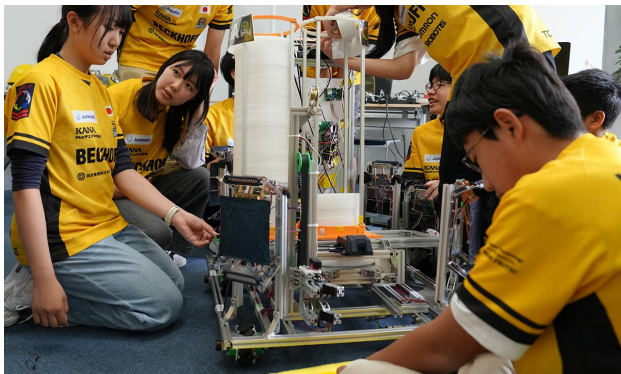
本機構の狙いは、エンジニア選手権を軸に子ども・大人に限らず初学者も参加しやすく、また現役エンジニアも生涯参加することができ、エンジニアリングを学び続け、“挑戦的共創人材”を輩出する全世代教育プログラムを創出することです。また、本機構が進める、小中学生がチームでの大型ロボット製作に挑む地域ロボット部活動“ジュニアロボットチーム”、そして普通科高校でAIロボット授業を全国に展開することで、コミュニティに参加する子ども達を増やし、挑戦的共創人材の育成に挑みます。育成だけに留まらず地域発のスタートアップが生まれるコミュニティを創出することも狙いの一つです。



重点事業① “ジュニアロボットチーム”



挑戦的共創人材のたまごを育てる地域ロボット部活動



本格的なロボット製作

1m立方弱、20kg程度にもなる大型ロボット製作に挑みます。使用する機械・回路などの部材は産業界でも使用されているもので、早期から機材や工具の扱いに慣れ、かつ安全教育も含めたエンジニアリング教育を提供します。

チームでのものづくり経験

6人程度で1つのチームを作り、ロボット製作を行います。仲間と協力しながらロボット製作に挑戦することで、コミュニケーション力、リーダーシップ、問題解決力を養います。

現役エンジニアとの接点

指導を務めるのは主に地域在住のエンジニアや工学部の学生などです。現場で働くエンジニア達からの指導を通じて、早期からエンジニアという働き方や業界を知るとともに、エンジニアリングの世界への興味を育みます。

地域と密着した活動

各地域で開催されているイベントにて製作したロボットを出展し、操縦体験会などを実施しています。製作したロボットを子ども達自らが来場者に説明することで、成果物や取り組みを他人に分かりやすく説明するスキルを養います。



重点事業① “ジュニアロボットチーム”



挑戦的共創人材のたまごを育てる地域ロボット部活動



重点事業② “普通科高校向けロボット・AI教材”



挑戦的共創人材を既存の教育機関の中で広く育てる



コンセプト：最新のロボット・AI技術を普通科高校生の手に
ロボット・AI分野の最前線で働く若手ロボットエンジニアや大学教員たちが教材と授業を企画・制作。近年のロボットで用いられている要素を盛り込み、配膳ロボットと同程度の機能であれば学べる教材としました。

大型ロボットを製作しものづくりのチームワークを学ぶ教材
約60cm立方の大型ロボットを、5～6名のチームで組み立てます。機械組み立て、制御回路の配線、プログラミングなどを分担し、チームで一つのロボットを完成させる体験を通して、ものづくりに不可欠なチームワークを培います。

AIを積極活用し理工学系への苦手意識を乗り越えられる教材
画像認識AIを自ら訓練する授業や、ChatGPTなどの生成AIを使って日本語の文章からプログラムを生成する授業も展開。最新のAIを積極的に活用し、テクノロジーを「自分でも扱える」と感じられる授業設計とすることで、ロボット×AI分野への興味を促します。

対戦機能付きでゲームのように楽しめる教材
学べる教材だけではなく、まずは楽しめる教材としてロボットを使った対戦機能を搭載。やわらかいフリスビーをロボット同士で投げ合って相手ロボットを倒し合う、まるでゲームのようなロボットバトルを体験できます。



重点事業② “普通科高校向けロボット・AI教材”



挑戦的共創人材を既存の教育機関の中で広く育てる



重点事業③ “エンジニア選手権”



次世代のロボット競技の中で挑戦的共創人材を育成する



誰が見ても「面白そう」を目指したゲームライクなロボット競技
ロボット視点で操縦する様子はまるでテレビゲーム。ロボット同士が柔らかいディスクを投げ合って攻撃する、誰が見ても分かりやすい競技ルールと見応えある試合展開で見る人、関わる人すべての興味関心を引きつけます。

同盟を組み、協力して頂点を目指す

CoREの競技は協力和戦略が鍵となる同盟バトル方式です。すべての試合で他のチームと同盟を組み、同盟同士で対戦します。負けた同盟も勝った同盟に加わり、決勝戦まで全チームが出場可能。頂点に立つには高い技術力だけでなくチーム間の駆け引きや交渉力も不可欠です。

初心者と上級者のシームレスな育成の場

CoREは初心者が気軽に参加できながらも、上級者はより高度な技術に挑戦して高みを目指せるよう、2部リーグ制を採用しています。両リーグで製作するロボットのルールは基本的には共通であり、初心者向け2部リーグのチームがスキルアップして、中上級者向け1部リーグに同じロボットで参加も可能です。

エンジニア選手権には専用のスポンサープラン・機器展示プランがございます。
詳細は右よりご覧ください。 <https://core.scramble-robot.org/sponsor-info/>

重点事業③ “エンジニア選手権”



次世代のロボット競技の中で挑戦的共創人材を育成する



次世代ロボットエンジニア支援機構について



一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構（通称Scramble）は、これからの日本を牽引するエンジニアのたまごを地域から育成する、ロボット競技会を人材育成・発掘の場として最大限に活用する、の2つをミッションに掲げています。次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成、輩出するためのエンジニア選手権CoREの主催、また挑戦的共創人材のたまごを地域から育成するための地域ロボット部活動“ジュニアロボットチーム”、普通科高校でロボット・AIの最先端に触れるロボット・AI教材提供、の3つの事業を主に展開しています。

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1 けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org

役員一覧



代表理事
川節 拓実 博士（工学）
京都大学 准教授



理事
高橋 智也
(株)アイ・イル・シー



理事
長沼 孝仁
(株)日音



監事
鮫島 功路
(株)ダイフク



副代表理事
小林 憲人
(株)ティアフォー



理事
水野 海渡 博士（工学）
DMG森精機(株)



監事
小林 雄一郎
精華町立精華西中学校
技術科教員

ご協賛のご案内

ご協賛メリットのご紹介：CSR活動



①次世代を担う子ども達を育成する企業として社会貢献頂けます

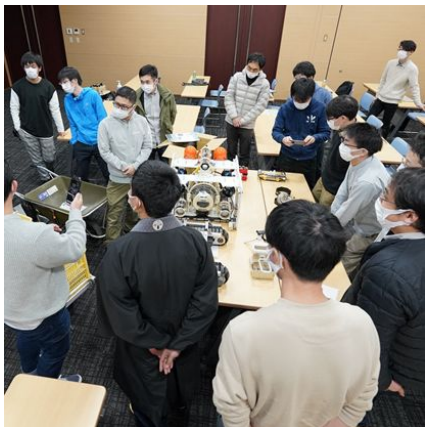
本機構は、ジュニアロボットチームや高校生へのロボット教材提供などの取り組みを通じて、次世代を担う子ども達の育成事業を推進しています。科学技術が飛躍的に進歩し、技術を正しく理解し活用することが強く求められる現代において、エンジニア的素養や価値観を身につけることは子ども達にとっても必須になります。本機構への協賛を通じて、子ども達向けの高度なエンジニアリング教育基盤を全国的に普及させる事業へ貢献いただけます。社内教育のみならず、社会的にエンジニアのたまごの育成に貢献していることをエンジニア界隈にアピールいただけ、SDGs目標達成にも資するCSR（企業の社会的責任）活動に注力されていることを子ども達や保護者を含め幅広い層にアピールいただけます。



ご協賛メリットのご紹介：貴社認知度の向上と人材採用

②学生・現役エンジニア界隈へ貴社の効果的なPRが図れます

本機構はジュニアロボットチーム、FA設備技術勉強会など、子どもから現役のエンジニアとして働く幅広い世代の優秀なエンジニア、そのたまごが多数参加するイベントを主催しています。これらの方々には、技術に触れて学ぶことが楽しく好きで仕方ないような、自発的かつ意欲的に技術を磨き続けられる人材が多数います。このような人材と関係性を作れるのは貴重な機会であり、従来の就職・転職活動では発掘できない、マッチングしない人材に出会えることもあるため、新たな採用のチャンスにつなげて頂くことができます。さらに、本機構で科学技術の未来を考え行動している構成員の大多数がエンジニアリングを学ぶ学生、もしくは若手エンジニアであり、外部のみならず機構内の優秀な若手に対する貴社アピールにもつながります。



ご協賛プランのご紹介



| ご協賛種別 金額 | Scrambleパートナー 100万円 | ダイヤモンド 50万円 | ゴールド 25万円 | シルバー 10万円 |
|-------------------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| Webページへ貴社名、ロゴ掲載 | 大ロゴ | 中ロゴ | 小ロゴ | 小ロゴ |
| 配付資料への貴社名、ロゴ掲載 | 大ロゴ | 小ロゴ | 文字のみ | 文字のみ |
| 活動報告書のご提供、活動報告会へご招待 ※1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| エンジニア選手権でのVIP座席へのご案内 ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ユニフォームへ貴社ロゴ掲載 ※3 | 特大ロゴ3地域まで もしくは大ロゴ6地域まで | 大ロゴ4地域まで | 中ロゴ3地域まで | 小ロゴ3地域まで |
| ユニフォームのご提供 ※3 | 最大3着 | 最大2着 | 1着 | 1着 |
| ロボットへ貴社ロゴ掲載 ※4 | 特大ロゴ3地域まで もしくは大ロゴ6地域まで | 大ロゴ4地域まで | 小ロゴ3地域まで | — |
| Scrambleグッズのご提供 | 2種3点ずつ | 2種2点ずつ | — | — |
| 各種イベント時に貴社PR資料配付 | ○ | ○ | — | — |

スポンサー費は消費税の課税対象外で、別途消費税を申し受けることはございません。この表の内容等については変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。
ご不明な点がございましたらお気軽にお申し付けください。

※1 報告会は毎年11月頃の開催を予定しております。会場にお越し頂く際の旅費等はご負担をお願いします。

※2 本機構が主催するエンジニア選手権において支援者様限定の観戦エリアをご用意いたします。観戦エリアは1部リーグのみのご案内となります。

※3 本機構所属者がイベントなどで着用するユニフォームです。デザインの更新は年1回を予定しております。ご提供数分以上をご希望の場合は有償でご購入いただけます。

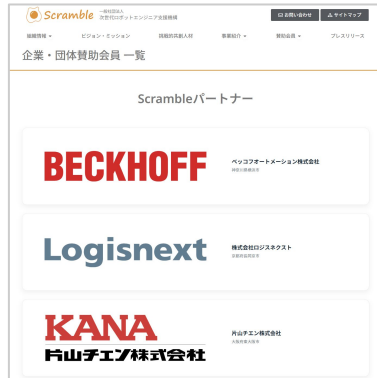
※4 ジュニアロボットチームなどで製作するロボットに貴社ロゴを掲載いたします。

プラン内容のご紹介



Webページへ貴社名、ロゴ掲載

機構公式Webサイトにて貴社名、ロゴをスポンサーランクに応じて掲載致します。



パートナー
大

ダイヤモンド
中

ゴールド
小

シルバー
小

配布資料への貴社名、ロゴ掲載

本機構がイベントなどで配布するスポンサー紹介資料に、貴社名、ロゴをスポンサーランクに応じて掲載致します。



パートナー
大

ダイヤモンド
小

ゴールド
文字のみ

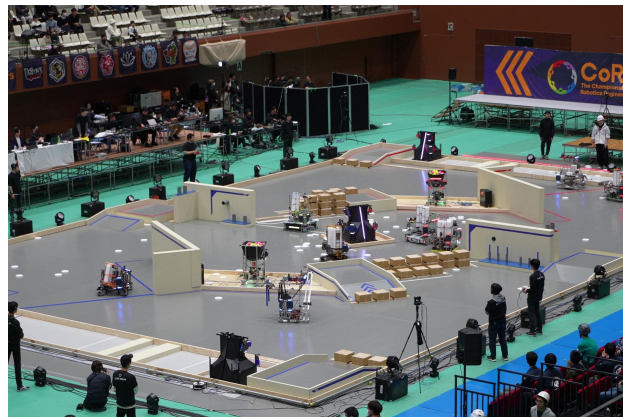
シルバー
文字のみ

プラン内容のご紹介



エンジニア選手権VIP座席へのご案内

選手権会場でご用意するVIP席へご案内致します。なお、会場にお越しいただく際の旅費などはお負担をお願いします。VIP座席は1部リーグのみ設置予定です。



パートナー

ダイヤモンド

ゴールド

シルバー

Scrambleグッズのご提供

本機構が毎年制作するオリジナルグッズをランクに応じてご提供致します。



パートナー
2種3点ずつまで

ダイヤモンド
2種2点ずつまで

ゴールド
なし

シルバー
なし

プラン内容のご紹介



ユニフォームへの貴社ロゴ掲載、ユニフォームのご提供

本機構がイベントなどで着用するユニフォームへ貴社ロゴを掲載します。また、プランに応じてユニフォームを無償提供（有償での追加購入も可能です）致します。ユニフォームは年1回、デザイン更新予定です。



2024年度京都デザイン例



2024年度大阪デザイン例



2024年度東京デザイン例

パートナー
特大ロゴ3地域まで
もしくは大ロゴ6地域まで
(最大3着まで無償提供)

ダイヤモンド
大ロゴ4地域まで
(最大2着まで無償提供)

ゴールド
中ロゴ3地域まで
(1着無償提供)

シルバー
小ロゴ3地域まで
(1着無償提供)

プラン内容のご紹介



ロボットへの貴社ロゴ掲載

ジュニアロボットチームが製作するロボットへ貴社ロゴを掲載致します。



パートナー
特大ロゴ3地域まで
もしくは大ロゴ6地域まで

ダイヤモンド
大ロゴ4地域まで

ゴールド
小ロゴ3地域まで

シルバー
なし

プラン内容のご紹介



各種イベント時に貴社PR資料配付

本機構主催イベントや出展イベントでご希望の資料を本機構のパンフレットと一緒に配布致します。



パートナー

ダイヤモンド

ゴールド
なし

シルバー
なし

お申し込み、お問い合わせ先



一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

スポンサー担当：川節

※スポンサーは年間スポンサーで、いつでもお申し込みいただけます。

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org

【振込先情報】

銀行名：paypay銀行（0038）

支店名：ビジネス営業部（005）

口座種別・番号：普通 6917135

口座名義：一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 J K A

シャ）ジセダイロボットエンジニアシエンキコウジェーケーエー